



院長 大森 弘則

医学博士
日本整形外科学会認定整形外科専門医
日本リウマチ学会認定リウマチ専門医

大森整形外科リウマチ科は、2019年から変形性膝関節症に対する再生医療の「PRP（多血小板血漿）療法」を導入しました。PRPは、成長因子を含む血小板を凝縮したもので、患者自身の血液から抽出して膝に注入することで、関節内の炎症の抑制や、損傷した組織の修復が期待できます。同院では、血小板から良質のタンパク質を高濃度で抽出できる「APS（自己タンパク質溶液）療法」も導入して、痛みを抑える効果をより長期に持続させる治療も行っています。大森弘則院長は「これらの再生医療は、従来の鎮痛剤やヒアルロン注射による保存療法では痛みがとれない方にも除痛効果が期待でき、手術療法以外の『第3の治療』として新たな治療の選択肢になります」と説明。治療は1時間で済み、患者自身の血

変形性膝関節症の多角的治療へ 再生医療のPRPを導入

液を用いるため、アレルギー反応が起ころにくいといいます。「再生医療だけでなく、コンピューター支援手術にも注力することで、多角的な治療を提供しています」と強調する大森院長。特に人工関節置換術では、これまでに2178件（04年4月～19年12月）の実績があります。膝の人工関節については、コンピューターによる3次元の手術シミュレーションやナビゲーション、3Dプリンターを用いたオーダーメイドの手術など、高度な技術を積極的に取り入れています。最小侵襲手術や疼痛管理にも力を入れており、術後24時間以内の歩行を可能にしています。

医療法人 弘昭会

○ 大森整形外科リウマチ科

診療時間： 8:30～12:30
14:30～18:30（土14:00～16:00）

休 診 日： 水午後、金午後、日、祝

〒918-8205

福井県福井市北四ツ居3-14-12

Tel. 0776-57-5000

<https://omori-seikei.or.jp/>

※PRPとAPSは自由診療、

それぞれ費用は10万円と30万円（税抜）